

C 2009 1月4日 ^{いだい まね}偉大な招き 名前

1. ^{ことば か おぼ}み言葉を書いて覚えましょう。

マタイ11・28

2. 「^{おも にもつ}重い荷物を持っている人は、わたしのもとにきなさい」と呼んでくださっているのはだれでしょう。

①お母さん



②おもちゃ屋^やの店長^{てんちょう}



③イエス様



3. その人のところに行くと、どうなるのでしょうか。

① おいしいものが

いっぱい食べられる



②心が^{かる}軽くなる



③さらに^{にもつ}荷物がふえる



4. あなたの心の中にも重い荷物のようなものはありませんか。

ある

ない

よくわからない

5. イエス様は「わたしの^おくびきを負いなさい」とおっしゃいました。それはどんなときもイエス様にならって生きるということです。あなたはどう答えますか。

(

)



^{いのち}お祈り



イエス様、わたしにも^{ひつよう}助けが必要です。これからは、どんなときもイエス様と^{いっしょ}一緒に^{かんしゃ}感謝です。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

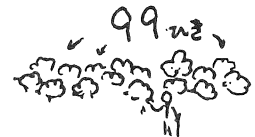
C 2009 1月11日 ^よ ^{ひつじか} 良い羊飼いい 名前

1. ^{ことば} ^か ^{おぼ} み言葉を書いて覚えましょう。

ルカ15・4

2. イエス様^{さま}がお話ししてくださった羊飼いは、いなくなった1匹の羊をどれくらいさがしたでしょう。

- ①とりあえず夕暮れ^{ゆうぐ}まで
- ②つかれてお腹^{なか}がへるまで
- ③羊を見つけるまで



3. 羊飼いは羊を見つけたとき、どうしたでしょうか。

- ①「わがまま羊はしばらく、ご飯^{はん}ぬきだ」としかった。
- ②「本当に見つかってよかった」と心から喜^{よろこ}んだ。
- ③「お前がぼくの羊だったかな?」と首をひねった。



4. イエス様のたとえ話はだれをあらわしているでしょう。

羊飼いい・・・・・・ []
いなくなった羊・・・ []



☆「わたし一人くらい教会に行かなくても、神様^{かみさま}は何とも思われなだろう」と考えたことはありませんか。あなたを神様のもとにつれ帰^{かえ}るために、イエス様は十字架^{じゅうじか}にかかってくださいました。あなたはそれほどに大切な一人なのです。

いの
お祈り



イエス様、いなくなった羊を、いっしょうけんめいにさがす羊飼いのように、わたしをさがしてくださってありがとうございます。いつまでも、イエス様のそばにいらしてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。



これで100匹

1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚^{おぼ}えましょう。

ヨハネ5・6

2. イエス様^{さま}とベテスタの池で出会ったこの人は、どれくらい長い間^{びょうき}病気だったでしょうか（5節）。

() 年間

それはどれくらい長い時間か考えてみましょう。
あなたの年の何倍ですか。

() 倍

3. この人はなぜ長い間、ベテスタの池のところで寝ていたのでしょうか。

- ①池の近くが好きだったから
- ②病気がなると信^{しん}じていたから
- ③家に帰れなかったから

4. イエス様が「なおりたいのか」と言ったとき、この人は何と言ったでしょう（7節）。

[]

5. この人の本当の気^き持^もちはどうだったのでしょうか？

なおりたかった ・ なおりたくなかった

6. イエス様の「床^{とこ}をとりあげなさい」という言葉は、「あなたの病気はなおりました」という意味です。この人がイエス様を信^{しん}じてしたがったとき、どうなったでしょう。

[]

いの
お祈り



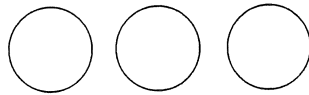
神様、今までうまくいなくてあきらめていることも、はじめからだめだと思っていることも、イエス様にたよれば、大丈夫^{だいじょうぶ}だと信じます。いつもわたしをたすけてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。



1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

ルカ18・41

2. イエス^{さま}様がエルサレムに行く^{とちゅう}途中で立ちよった町の名前は、何だったでしょう（35節）。



3. 大勢^{おおぜい}の人がイエス様を一目見ようとおしよせた中に、バルテマイという人がいました。バルテマイがこまっていたことは何だったでしょう。

[]

4. バルテマイはイエス様に^{たす}助けてもらいたいと思ってあることをしました。何だったでしょう。

- ① イエス様の弟子^{でし}たちに必死^{ひっし}にたのんだ
- ② 「ダビデの子よ、わたしをあわれんでください」とさげ^さんだ
- ③ 今はムリかなと思って、予約^{よやく}だけとった



5. 「ダビデの子よ」と叫^{さけ}びながら、イエス様に助けを求めるバルテマイを多く^{おほく}の人はしかりました。イエス様はどうしたでしょう。

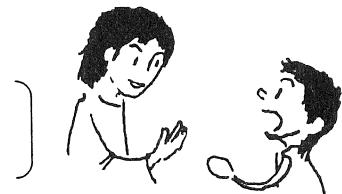
- ① 「静^{しず}かにしなさい」としかった
- ② いそがしかったので、「また今度^{こんど}来なさい」といった
- ③ 彼^{かれ}を連^つれてくるようにといった

6. イエス様はバルテマイの目を見えるようにしてくださいました！ 喜^{よろこ}んだバルテマイはどうしたでしょう（43節）。

お祈^{いの}り



[]



イエス様はわたしを助けてくださると信^{しん}じます。バルテマイのように、すなおにもとめる心をあたえてください。わたしもイエス様にしがっていきます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

1. ^{ことば}み言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

マタイ9・2

2. 中風という病^{びょうき}にかかると、からだ^{からだ}が自由^{じゆう}に動^{うご}きません。この人はどのよう^{よう}にしてイエス様^{さま}のそば^{そば}に行った^いたのでしょうか。

①タクシーをたのんだ ②友だちに運んでもらった ③それでも一人でがんばった

3. どうしてそこまでしてイエス様の^{ところ}所^{ところ}に行きたかった^いたのでしょうか。

- ①イエス様を一目^{ひとめ}見た^みかったから
- ②楽しいことがある^あるかもしれないから
- ③イエス様だけが自分^{自分}をなおせると信じていたから

4. 「あなたの罪^{つみ}はゆるされた」と、イエス様がこの人におっしゃる^いのを聞いて、律法学者^{りっぽうがくしゃ}たちは腹^{はら}をたてました。なぜ^{なぜ}でしょう（3節）。

5. 病気がなおることと、罪がゆるされることと、どちらの方が大切^{たいせつ}でしょうか。

病気がなおること ・ 罪がゆるされること ・ どちらも同じ

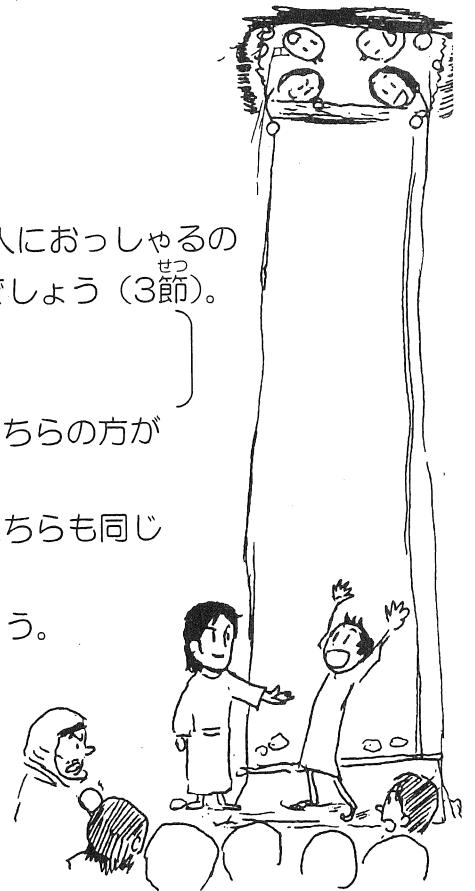
6. あなたの罪をゆるすことができるのはだれ^{だれ}でしょう。

[]

いの
お祈り



神様、わたしの罪をゆるすことができるのは、神様あなただけです。罪がゆるされて元気に生きていけるようにしてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。



C 2009 2月8日

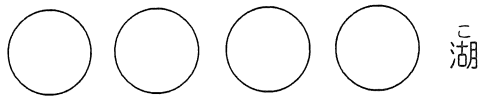
あらし しず
嵐を静める

名前

1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

マルコ4・40

2. 今日のお話にでてきた ^{みずうみ}湖 の名前は？



3. ^{ふね}舟^のに乗っていた人をえらびましょう。

^{かい}海ぞく ^{さま}イエス様 ^{きやく}お客さん ^{でし}弟子たち ガイドさん

4. 舟は大変な嵐におそわれました。そのとき^{りょうし}漁師^だだった弟子たちはどうしたでしょう。

- ①こんな^{へいき}のこわくないと平気な顔をしていた
②せっかくだから魚がいなかさがしていた
③あまりの嵐に手がおえず、おろおろした

5. そのときイエス様はどうしておられましたか。

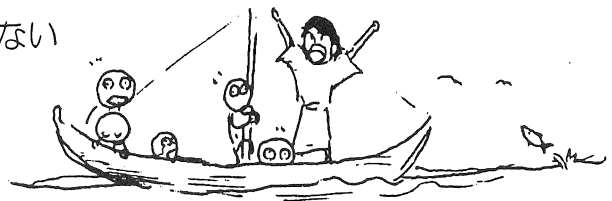
- ①弟子たちをおうえんしていた
②ゆれる舟の中で^{ねむ}眠っていた
③^つ釣りをしていた

6. 弟子たちに起こされたイエス様は、嵐を静めてくださいました。嵐も静める力をもつイエス様に、できないことはあるでしょうか。

- ①ある ②ない ③わからない



天のお父様、わたしたちもどうしていいかわからなくて、あわてるときがあります。そんなとき、弟子たちを助けられたように、わたしたちを助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。



C2009 2月 15 日

むすめ
ヤイロの 娘

なまえ
名前

1、イエス様^{さま}がヤイロさんに言った今日のみ言葉^{ことば}を書いて覚えましょう^{おぼ}。



マルコ5・36

2、今日のお話の中でのヤイロの気持ちを下の の中からえらびましょう。

- ①会堂司^{かいどうつかさ}ヤイロさんがイエス様の所^{さま}へやってきました。ヤイロの気持ち：
- ②道のとちゅうでイエス様は12年間^{びょうき}病気だった女の人をいやしました。：
- ③その間にヤイロの娘^{むすめ}が亡^なくなったとの知らせが来ました。：
- ④イエス様はヤイロに「恐^{おそ}れないで、ただ信^{しん}じなさい」と言われました。：
- ⑤「子どもは眠^{ねむ}っているだけだ」と言うイエス様をみんなは笑^{わら}いました。：
- ⑥イエス様が娘^{むすめ}の手を取り「起^おきなさい」と言う^{むすめ}と娘は歩^{ある}き出しました。：

ア) もうだめだ！ イ) イエス様^{さま}がおっしゃるなら、何かよくわからないけど、だいじょうぶ…？

ウ) こんな所^{ところ}でみちくさしてる場合^{ばあい}じゃないでしょ！ エ) やっぱりイエス様^{さま}でもムリかも…

オ) えっ！？ こんなことが！！？イエス様^{さま}はやっぱり神様^{かみさま}だったんだ！

カ) もう最後^{さいご}のたのみのつなはイエス様^{さま}しかいません！

3、みなさんは絶体絶命^{ぜったいぜつめい}の大ピンチの時にどうしますか？下の の中からえらびましょう。

☆お父さんやお母さんが病気^{びょうき}で入院^{にゅういん}することに…。 ()

☆一人^{ひとり}で留守番^{るすばん}をしている時に急^{きゅう}にお腹^{なか}が痛^{いた}くなった。 ()

☆遊^{あそ}んでいるとちゅうで大けがをして動^{うご}けなくなった。 ()

☆大事^{だいじ}なものをなくしてしまった。 ()

ア) 泣^なく イ) 何も考^{かんが}えられなくなる ウ) いいと思うことを手^て当たりしだい何でもやってみる エ) とにかく、まずお祈^{いの}りする オ) なんでもかんでも拝^をむ

③ かみさま たいへん
神様、大変なことがおこったときに、
イエス様の愛^{いの}を覚え、お祈^{いの}りできますよ
うに。イエス様のお名前^{なまえ}によってお祈^{いの}
ります。アーメン。

★ ふだんからイエス様の愛^{いの}を覚えてお祈^{いの}りし
ている人は、いざという時にも、すぐにお
祈^{いの}りできるのですね。いつもどんなことでも
お祈^{いの}りする習^{しゅうかん}慣^{かん}をつけましょう。

1、今日の**み言葉**を書いて覚えましょう。

I コリント 13・8

2、今日のテーマは「愛」。最高の愛って？ あてはまる意味(場面)をえらびましょう

あい
愛は

- 1) 寛容(怒りを遅くする) .
- 2) 情け深い(親切) .
- 3) ねたまない .
- 4) 高ぶらない ほこらない .
- 5) 不作法をしない .
- 6) 自分の利益を求めない .
- 7) いらだたない(憤 らない) .
- 8) 恨まない(人の悪を数えない) .
- 9) 不義を喜ばず、真理を喜ぶ .
- 10) すべてを忍ぶ(受け止める) .
- 11) すべてを信じる .
- 12) すべてを望み .
- 13) すべてを耐える(ふんばる) .

- ア) 毛深いこと
- イ) 足をふまれても怒らない
- ウ) 自分のことだけを考えない
- エ) 妹がほめられてもよろこぶ
- オ) ずるいことはイヤ。正々堂々と!
- カ) すぐおちこむこと
- キ) 自分の良さをみせびらかさないこと
- ク) 人が自分にした悪を覚えておかない
- コ) じつとがまんすること
- サ) 自分の信じているものを守ること
- シ) カッとならないこと
- ス) 人をからかうこと
- セ) 困っている人を助ける
- ソ) 人に迷惑をかけて平気でいいこと
- タ) ぜんぶ神様にまかせること
- チ) 神様が何をされるか期待すること

3、「愛」だと思ふものには○、ちがうと思ふものに×をつけましょう。

- () 「あ、〇〇さんたいへんそー。手伝ってあげよう」
- () 「あの人にはやさしくすることないわ。だっていつもいじわるだもん」
- () 「ここでいいことしたら、成績あがるかも」
- () 「今、おれは急いでいるんだから、順番ぬかしてもしょうがないだろ！」
- () 「むっかつつく———！ちょー腹立つ！」 「あー、世界でわたしが一番不幸ね」

4、自分は愛がある人だと思いますか？ ()

イエス様は愛のないわたしのために十字架にかかって、わたしに愛を教えてくださいましたのですね。
イエス様がわたしの心に来てくださるなら、わたしも愛の人に変えていただけます。

③ かみさま 神様、わたしには愛がありません。
愛をあたえてください。イエス様のお名前によっ
てお祈りします。アーメン。

★ イエス様がどれだけ愛して
くださっているか、
それをおぼえていようネ！

1、イエス様がマルタに言った今日の^{ことば}み言葉を^{おぼ}書いて覚えましょう。



ヨハネ 11:25

2、今日のお話の^{じゅんばん}順番に^{ばんごう}番号を書きましょう。必要なら に言葉を入れましょう。

- () イエス様はマルタに「わたしはよみがえりであり、命である」と言いました。
- () イエス様がベタニヤについた時、ラザロは死んで 日もたっていました。
- () イエス様はマリヤたちが泣いているのを見て を流しました。
- () イエス様は墓にむかって大声で「ラザロよ、出てきなさい!」と言いました。
- () マルタがイエス様に「あなたがここにいて下さったなら…」と言いました。
- () 死んでいたラザロは顔などを布でまかれたまま、 から出てきました。

3、次の質問に答えましょう。

①あなたは「死」について考えたことがありますか? (ある ・ ない)

②イエス様の言う「よみがえり」(復活)とはどういう意味でしょう?

ア) 死んだ人の心臓が動き出すこと イ) 死んだ人の霊が帰ってくること

ウ) イエス様と同じ体に変えられて、永遠に神様といっしょにいること

③「永遠のいのち」とは何でしょう?

ア) この地上で生き続けるいのち イ) 神様のいのち

ウ) 死んだ後、さまたい続けるいのち

④ あなたは永遠のいのちをいただいていますか?

どのようにしたら永遠のいのちがいただけるでしょう?

1) 神様に背をむけて犯してきた自分の を悔い改めて、

2) イエス様の十字架によってわたしの罪がゆるされたことを 、

3) イエス様をわたしの心の中に、わたしの主として ことです。



神様、わたしに永遠のいのちをあたえてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★どんな奇跡よりすばらしいことは、イエス様を信じて永遠のいのちに生まれ変わることです。

1、^{きょう}今日のみ言葉^{ことば}を書いて覚え^かましょう。

ヨハネ 12・3

2、今日のお話を思い出してあてはまる人物^{じんぶつ}を下の□からえらびましょう。

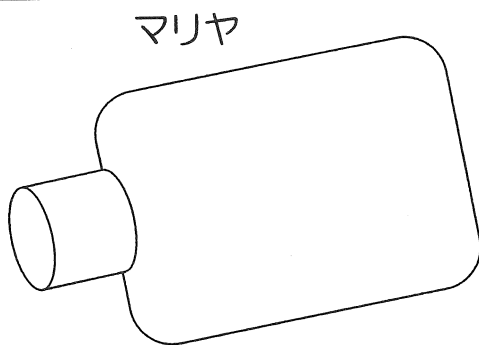
- ① □ がベタニヤ村^{むら}にやってきました。
- ② □ はイエス様^{さま}のために料理^{りょうり}をつくっていました。
- ③ □ はイエス様^{さま}といっしょにすわっていました。
- ④ □ は香油^{こうゆ}をイエス様^{さま}の足^{あし}にぬって、自分の髪^{かみ}の毛^けでふきました。
- ⑤ □ は「その香油^{こうゆ}で貧しい人^{ます}を助け^{たす}られたのに！」と怒^{おこ}りました。
- ⑥ □ は「わたしの葬^{ほうむ}りの準備^{じゅんび}をしてくれたのだ。」とほめました。

マリヤ・ユダ・イエス様^{さま}・マルタ・ラザロ

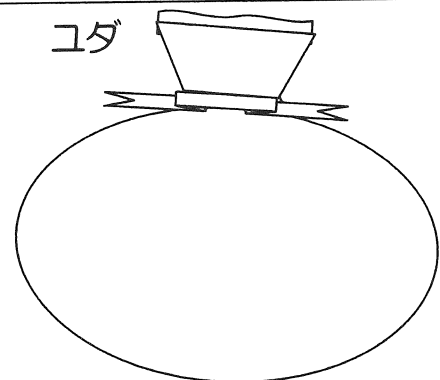
3、マリヤとユダの心^{こころ}にあった思^{おも}いは何でしょう？□からえらんで絵の中に書きましょう。

ア) 純粋^{じゅんすい}さ イ) 金^{かね}好き ウ) 恐^{おそ}れ エ) 一生懸命^{いっしょうけんめい} オ) 惜^おしまない心

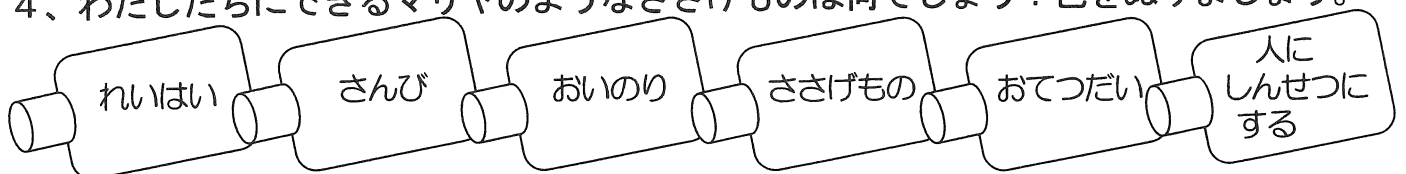
カ) 計算^{けいさん}する心 キ) 自己中^{じこちゅうしん}心 ク) 感謝^{かんしゃ} ケ) 自分^{じぶん}の損^{そん}を嫌^{いや}がらない心



イエス様^{さま}と同じ
心^{こころ}はどっちですか？
← →



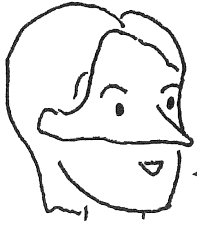
4、わたしたちにできるマリヤのようなささげ^{ささげ}ものは何でしょう？色をぬりましょう。



③ わたしもイエス様^{さま}が愛^{あい}してくださったことにかんしゃをあらわすことができますように。イエス様^{さま}のお名前^{なまえ}によってお祈^{いの}りします。アーメン。

★ イエス様^{さま}は
何よりもわたしたちの
心^{こころ}をよろこばれます。

1、イエス様が弟子たちに教えた今日のみの言葉を書いて覚えましょう。



ルカ 19:31

2、今日のお話を思いだして正しいものに○をつけましょう（ルカ 19・28～40）。

- ①イエス様が（パテベケ・ベタパケ・ベテパケ）とベタニヤに近づかれた時、
 ②二人の弟子たちに「（馬車・ろばの子・牛の子）を引いてきなさい」と言いました。
 ③「どうして引いていくのか？」と人に聞かれ、弟子たちはイエス様に教わったとおり、（「主がお入り用なのです」・「主からのお告げです」・「まあ、いいじゃないですか」）と言いました。
 ④ロバに乗ることは（ケンカ好き・平和（柔和）・おくびょう者）のシンボルでした。
 ⑤人々はさんびしながら、自分たちの（タオル・くつ・上着）を道にしました。
 イエス様はゆっくりとエルサレムに進んで行かれました。

3、ろばはどんな動物ですか？

☆足が（はやい・おそい）

☆頭が（いい・わるい）

☆性格が（すなお・がんこ）

☆重たい荷物を（運べる・運べない）

4、あなたには弱点がありますか？ どんな弱点があるでしょう？

（成績がよくない・足がおそい・顔に自信がない・飽きっぽい性格・不器用・

字がへた・ロベた・ケンカっばやい・

その他（

）

イエス様は、何もできないと思われたろばの子どもに、エルサレム入城という大役をまかせました。イエス様はあなたにどんな弱点があっても、イエス様の仕事に呼ばれる時があります。「わたしの仕事におまえが必要なんだ（入り用です）」と言われたら、素直に「はい、イエス様のお役に立たせてください」とお従いしましょう。



かみさま
神様、何もできないわたしですが、

かみさま
神様のお役に立たせてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ かみさま
神様はわたしたちを
もち
用いることができます。ただ
かみさま
神様にお従いしましょう。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

ヨハネ 13・1

2、次の文の の中に下からえらんで正しい言葉を書きましょう。

① の晩のことです。イエス様は「もうすぐ自分は十字架にかかる」ということを知っていました。

② イエス様は、神様が自分にすべてをおまかせになったことを知りました。ところがイエス様が のように、弟子たちの を洗い始めました。

③ 弟子たちはびっくり！ は「わたしの足だけはゼツタイ洗わないでください！」と言いました。でも、イエス様は「洗わなければあなたと何の関係もなくなる」と言って、洗ってしまいました。

④ ユダの足もみんな洗った後、イエス様は「あなたがたも に足を洗い合いなさい」と言われました。

⑤ 十字架の前でも、イエス様は最後まで弟子たちに を示されました。

お互い・クリスマス・手・ユダ・イエス様・過ぎ越しの祭り・律法・
顔・ヨハネ・どれい（しもべ）・ペテロ・愛・きれい・天使・足

3、ルカ 22・24 では、弟子たちが「だれがいちばん偉いだろうか」と争っていました。

この世を去ろうとしていたイエス様が弟子たちに伝えたかったことは何でしょう？

ア) わたしの弟子とは、人に仕える人です。

イ) みんな、次のリーダーを目指して頑張きなさい。

ウ) わたしがいつまでも一番えらいんだぞ。よくおぼえているように！

4、人に仕えるというのはなかなかできません。そのためにどうしたらいいでしょう？

1) 足をさしだす。「わたしは 」と祈る。

2) イエス様に足を洗っていただく。

(の血によってわたしの罪をきよめていただく (I ヨハネ 1・7～10))。

3) 足を洗ってくださったイエス様の姿になろう。

(この人に 様ならどうされるかな？と 考えて人に接する)

③ 神様、イエス様がわたしのためにしてくださったように

わたしも人に仕える人にならせてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ イエス様の姿を思
うと、人にどう接すれ
ばよいかわかるね。

1、イエス様が弟子たちに言われた今日のみ言葉を書いて覚えましょう。



ルカ 22・19

2、今日のお話の内容とちがっている所が一つの文の中に一個所あります。ちがっている所に×をつけ、正しい答を（ ）に書きましょう。(ルカ 22・7～23)

①イエス様はクリスマスの準備をペテロとヨハネに頼みました。()

②過ぎ越しの祭りとは、バビロンを脱出したことを記念した祭りです。()

③イエス様はパンを感謝してさき、「これは新しい契約である。」と言いました。

(「)

④次にイエス様は杯をもって、「これはわたしのからだである」と言いました。

(「)

⑤このパンさきは教会の洗礼式として今も続けられています。()

3、イエス様がしたり、言われたりしたことは何を記念する(覚える)ためでしょう？
下の の中からえらびましょう。

1) パンをさき、ぶどう酒(汁)を注ぐこと ()

2) みんなが一つのパンから食べ、一つの杯から飲むこと ()

3) イエス様が言われたように、今も教会の聖餐式で続けられていること ()

ア) イエス様がもう一度来られることを待つこと (しょうらい)

イ) イエス様が十字架の上で釘を打たれ、血を流されたことによる救い(かこ)

ウ) 私たち教会の一人一人は復活されたイエス様の体の一部であること(げんざい)

4、4月か今年度は「愛に生きる」というテーマでした。心に残っているお話や人物やみ言葉がありますか？ 神様のご愛をさらに知ることができますように！

③ 神様がわたしを愛してくださっていることを感謝いたし

ます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★新年度も神様のご愛を教えていただきますように！

2008年度 牧羊者 第Ⅳ巻

ワークC解説 1~3月

1/4

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 イエス様の呼び声としてみ言葉を味わいましょう。
- 第3問 イエス様を信じることは、不自由になることではありません。イエス様のもとに行くことで本当の休みが与えられます。
- 第4問 重荷は罪であったり、自分ではどうすることもできない環境であるかもしれません。そういうものを抱えた子どもたちも、イエス様のもとに呼ばれているのです。
- 第5問 イエス様の招きの声に対する素直な応答の声を聞きましょう。

1/11

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 羊飼いが、とことんまで羊を探したことに驚きたいものです。
- 第3問 怒られることを経験してきたかもしれません。けれども羊飼いは、心から喜び抱きしめてくれました。それは何と嬉しいことでしょう！
- 第4問 どこまでも探し続けてくれる羊飼いき、神様の姿であり、イエス様の姿であります。いなくなった羊は、神様のもとから離れている子どもたち自身であることを考えさせましょう。イエス様は一人一人を力強く抱きしめてくださいます。

1/18

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 38年間も病に悩んできた重さについて考えましょう。
- 第3問 期待しながらそれがかなえられず、助けてくれる人もおらず、あきらめかけているつらい状態にこの人はいました。子どもたちにも、あきらめかけていることがあるでしょうか。
- 第4問、第5問 素直に「治りたい」といえないほど、38年は長い歳月だったのでしょう。子どもたちも素直に、心の内を表現することはできないかもしれません。けれどもイエス様はちゃんと知ってくださっています。安心しましょう。
- 第5問 イエス様を信じて従おうとすると、今まで無理だと思っていたことにも、その御力をあらわしてください。イエス様に期待することを教えましょう。

1/25

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 有名な「エリコ」の町の名を確認しましょう。
- 第3問 ルカにはバルテマイという名は使われていませんが、マルコ10・46にこの名が記されています。バルテマイは目が見えずに、つらい生涯を送ってきました。
- 第4問 「ダビデの子よ」とは、イエス様を救い主と認める、信仰の叫びであることを確認しましょう。
- 第5問 イエス様は呼び求める者に、答えてくださるお方です。
- 第6問 救い出された者は感謝をもって、イエス様に従っていくはずですが。罪をゆるされた子どもたちも、いつまでもイエス様に従っていくことが当然です。

2/1

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 助けてくれた友だちも、イエス様に期待していたのでしょう。
- 第3問 イエス様だけが人を救うことができるので、そのお方のもとに行くのです。

●第4問 罪をゆるすことができるのは神だけだからです。つまりイエス様が「わたしは神である」と言ったことに怒りました。しかし、それは本当のことだったのです。

●第5問 人にはいろいろな願いがあるでしょう。けれども、罪をゆるされて永遠の命をいただくことよりも大切なことはありません。ほかのものは一時のことに過ぎません。

●第6問 イエス様に罪をゆるしていただくことを知って、その幸いにあずかることを勧めましょう。

2/8

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「ガリラヤ」湖。
- 第3問 「イエス様」と「弟子たち」です。

●第4問 漁師だったにもかかわらず、おそれるほどの嵐でした。どんなに立派な経験や知識も役に立たなくなることが、いくらでもあります。

●第5問 イエス様は眠っておられました。どんな状況でも恐れることのないイエス様の姿に、神様に信頼することの力強さを教えられます。

●第6問 イエス様は、恐れている弟子たちのために、嵐さえも静められました。どんなに科学が進歩しても、イエス様にはかないません。子どもたちの出会う思いがけないことにも、イエス様は必ず立ち向かって勝利してくださるお方であることを伝えましょう。

2/15

- 第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 今日の話をやイロの気持ちになって追ってみましょう。

解答 ①カ ②ウ ③ア ④イ ⑤エ ⑥オ

●第3問 自分の力が及ばない状況の時、パニックになりやすいものですが、いざ、その時に「お祈りすればよい」ことを思い出せるように。

2/22

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「愛は…」の内容を原語の意味に基づいて確認しましょう。

「寛容」：怒りを遅くすること／「情け深い」：親切、慈悲深い／「ねたまない」：ねたむ、嫉妬／「たかぶらない」：自分をえらそうにみせびらかさない／「不作法」：体裁のわるいこと／「いらだたない」：激昂、憤り・怒りを起こす／「うらまない」：人の悪いことを数えない／「すべてを忍び」：屋根で覆うように上から降ってくるものを受け止め耐える／「すべてを信じる」：信頼する、委ねる、任せる／「すべてを望む」：待望する／「すべて耐える」：自分の場に固く踏みとどまる、持ちこたえる、苦難・訓練を忍ぶ

解答 1)イ 2)セ 3)エ 4)キ 5)ソ 6)ウ 8)ク 9)オ 10)コ 12)チ

●第3問 「愛は…せず」愛の消極面を考えましょう。また表面的には愛があるようですが、その心の中は愛でない、という場面を考え、自分の愛が表面的ではなかったかどうか問い直しましょう。

解答 ○が一番上だけ

●第4問 自分の中には愛がないこと、イエス様にのみ愛があること、イエス様を心にお迎えするなら、愛の人に変えられることを確認しましょう。

3/1

●第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。

●第2問 ラザロの復活の奇跡を時間の経過を追って見ていきましょう。イエス様の心の動き、人々に教えたい真理、マルタなど周囲の人の霊的状态、奇跡が起こる過程をみましょう。

解答 上から3、1、4、5、2、6 ④、⑤、⑥

●第3問 「死」と「復活」、「永遠のいのち」、また、「永遠のいのちを得るためにどうすればいいのか」について、じっくり考えて知っていることを整理し、イエス様を救い主と信じ、永遠のいのちを与えていただきましょう。

解答 ②ウ ③イ ④1) 罪 2) 信じ 3) 迎える

3/8

●第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。

●第2問 十字架を目前にしたイエス様を取り巻く周りの人々の様子を把握しましょう。

①⑥イエス様 ②マルタ ③ラザロ ④マリヤ ⑤ユダ

●第3問 第2問の中で特に、マリヤとユダの心の違いを見比べましょう。十字架にかかるイエス様と同じ気持ちになっているのはどちらでしょうか。それがどれだけイエス様を慰めたことでしょうか。

解答 マリヤ…ア) エ) オ) ク) ケ) ユダ…イ) ウ) カ) キ)

●第4問 私たちがイエス様にささげるべき心のこもったささげ物は第一に礼拝です。

3/15

●第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。

●第2問 今日の話の内容を順番に追いながら、イエス様がなぜろばの子に乗られたのか、を考えましょう。

①ベテパゲ ②ろばの子 ③「主がお入り用なのです」 ④平和（柔和） ⑤上着

●第3問 ろばの特徴を知り、弱点を考えましょう。

(おそい、わるい、がんこ、運べる)

●第4問 神様は無きに等しい者をあえて選ばれるということを確認し、自分のような者を用いることのできる方を賛美しましょう。

3/22

●第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。

●第2問 話を追いながら、十字架を目前に控え、弟子たちを心配するイエス様の心を考えましょう。

①過ぎ越しの祭り ②どれい（しもべ）、足 ③ペテロ ④お互い ⑤愛

●第3問 「イエス様の弟子」とは何か、考えましょう。 解答 ア)

●第4問 自分のうちにイエス様のような謙遜がないことを認めましょう。そのような心の私のために十字架によってきよめてくださったことを感謝し、互いに足を洗い合う者とさせていただきます。

1)「仕えることができません」 2)十字架 3)イエス

3/29

●第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。

●第2問 聖餐式^{せいさんしき}につながる、イエス様のされた行為の意味を正確に把握しましょう。

①「クリスマス」→「過ぎ越しの祭り」

②「バビロン」→「エジプト」

③と④の「 」内を入れ替え

⑤「洗礼式」→「聖餐式」

●第3問 聖餐の3つの意味を確認しましょう。1)過去において罪をゆるされたこと、2)現在、キリストの体として一つの教会があること、3)将来、イエス様が再び来られることの希望。

解答 1)イ 2)ウ 3)ア

●第4問 一年間のテーマのおさらいをしましょう。神様の御愛をもう一度深く思いましょう。